

# 大桑 第242号 1月号 まさたか



栄区から横浜を変える！

JR大船駅・JR本郷台駅・JR港南台駅で配っています！

栄区から、しがらみのない市政(政治)を実現します！

市会議員5期目  
よろしくお願いします！

## 市会議員としての約束

- 1、選挙の前も選挙の後も駅前に立ち続け新聞(広報)を配り続けます。
- 2、大桑まさたかの政務活動費を公開し続けます。
- 3、私たち市民が市政(政治)に参加する流れをつくります。
- 4、子や孫のために持続可能な横浜(社会)をつくります。

## 横浜市中期4か年計画について

これまで何度も書かせて頂きましたが、昨年8月にこれからの横浜市の方向性を決めるための中長期の計画が横浜市から示され、山中市長の公約の実現性も含め議論を重ねてきました。その結果、昨年末に横浜市中期4か年計画に対して議会として附帯意見をふして確定しました。

この附帯意見は、「横浜市から示された中期計画はおおむねこれまでの横浜市の政策を踏まえてのものになっているため、横浜市議会としてその方向は認めるが、横浜市の財政ビジョンにも示されたとおり、これからの横浜市の財政は人口減少などもありとても厳しくなっていくので、今後の計画が決まったからといって財源などを無視するようなことがないように、しっかりと議会と議論をしながら進めるように」ということを記したものになっています。

## 大桑新聞

プロフィール

第242号(1月号)

大桑正貴(おおくわまさたか)

連絡先

横浜市会議員 大桑正貴(市政報告書)

〒247-0006 神奈川県横浜市栄区笠間2-20-7-102

TEL : 045-892-5187

FAX : 045-884-4917

H P : <http://m-okuwa.net/>

E-mail : [m-okuwa@mvg.biglobe.ne.jp](mailto:m-okuwa@mvg.biglobe.ne.jp)

昭和48年(1973年)7月4日生まれ横浜育ち 血液型A型  
横浜市立小山台小学校入学  
大分県立大分舞鶴高校入学(1年次冬、転勤で横浜へ戻る)  
神奈川県立大岡高校卒業/神奈川大学法学部法律学科卒業  
平成14年(2002年)12月 アシスト株式会社退職  
平成15年(2003年)4月 横浜市会議員 初当選  
平成19年(2007年)4月 横浜市会議員 2期目当選  
平成21年(2009年)9月 明治大学 専門職大学院修了  
平成23年(2011年)4月 横浜市会議員 3期目当選  
平成27年(2015年)4月 横浜市会議員 4期目当選  
平成31年(2019年)4月 横浜市会議員 5期目当選

JR大船駅・JR本郷台駅・JR港南台駅、いずれかの駅で配布しております。

## 11月分の収支報告(収入は政務活動費55万円/毎月)

令和4年度11月現在の政務活動費累計残高は**101,487円**です。

今月の支出の内訳

調査研究費	89,436円	資料作成費	0円
研修費	0円	資料購入費	3,189円
広報費	377,472円	人件費	0円
広聴費	0円	事務所費	106,635円
会議費	0円	事務費	12,732円

11月の支出合計は  
**589,464円**です。

### 近況報告

令和5年第1回市会定例会ですが、1月30日(月)から3月16日(木)で開催される予定となっています。日程の変更があれば改めてお知らせします。

さて、この定例会では横浜市の令和5年度の予算について議論することになっており、昨年末に附帯意見をふして可決した中期計画にあるように、小児医療費の中学校卒業までの無償化などについて議論していくこととなります。

次に、私の事務所についてですが、桂町から笠間に移動し、少しずつですが事務所に人がいる体制を取れるようにしております。しかし、土日なども含め、1日中、事務所に人がいる体制をとることは難しいので、連絡をして頂いた時に不在の場合は、留守番電話へのメッセージ、またはFAXをお願いします。

最後に、私は栄区のことを中心に、横浜市で起きていることをお伝えしています。これは、私は「**知って頂くことが何よりも大切**」だと考えているからです。今後も、この考えをもとに大桑新聞を作成していきますので、よろしくお願いします。

### 横浜市の令和5年度予算について

近況報告にも書いたように令和5年度予算について、1月30日(月)から議論が始まります。この定例会の中で山中市長の公約でもあり、これまでの横浜市でも徐々に進めていた小児医療費の窓口負担の軽減について、令和5年度の早期に「**中学3年生までの医療費を無料にしよう**」という議論を、その予算などについて具体的に議論していくこととなります。

次に中学校給食については、現在実施しているデリバリー型の給食を令和8年から基本、すべての中学生が食べる方向で議論をしていくこととなります。しかし、これについては中期計画に附帯意見をふしたように、温かい給食を望む声やアレルギーなどにどう対応していくか工夫が必要になってきます。それにくわえて課題になってくるのは、今後、すべての中学生がデリバリー型の給食を食べるとなると「**大量の給食を保管する場所を各中学校にどのように確保するのか**」、「**その事業費をどのように捻出するのか**」という部分です。今は物価が高騰していますので建設費用も高くなるでしょうし、すべての中学校にデリバリー型の給食を届けたあと時間内に全生徒の手元に届け、食べ終わったあとはどう回収するのかなど課題がまだまだ残っています。

その他には、敬老パスを本当に無料にするのか、出産費用を横浜市がどう負担していくのかなど、議論をしないといけない政策があります。ただし、何かを新しくやるためには、何かを削るしかありません。今後ともご報告いたします。



大桑新聞ではみなさまとともに、  
栄区について考えていきたいと思っております。

HP : <http://m-okuwa.net/>  
E-mail : [m-okuwa@mvg.biglobe.ne.jp](mailto:m-okuwa@mvg.biglobe.ne.jp)